

シャボン玉フォーラム in やまがた 『最上川と共に未来をつなぐ』 (レポート)

生活クラブやまがた生活協同組合が受け入れ団体となり、5月14日オンラインで2年ぶりのフォーラムが行われました。環境委員の声掛けで、「チーム60」(生協創立60周年からのネーミング)を12名で結成し以下

①～③の3つのテーマで活動し、報告されました。

- 活動目的は
- ・大切な水環境を守る
 - ・組合員の語り部を増やす
 - ・選ぶ力をつけて消費行動を変える
 - ・プラスチック問題を知る
 - ・石けん利用者を増やす-新規利用者を600人増やす



①合成洗剤と香料

アンケート調査やzoomで「香りなんでもトーク」、彩生舎との生産者交流会もzoomで行いました。香りは個人的な感覚と思いがちですが、感覚を共有することは香害問題を考えるために大切なことです。

②石けん

石けん初心者で活動を始めたので、気づきがたくさんあり、新鮮な感動を熱く伝えられました。zoom「石けんトーク」では石けんの基礎から始まり、重曹、クエン酸、酸素系漂白剤まで、さらに対面での石けん出張講座もされました。親子でズック洗い講座はコロナ禍で中止になりましたが、とろとろ石けんの作り方を郵便で知らせて、とてもきれいになったとの反響もありました。

③プラスチック問題

マイクロプラスチック問題を伝えて、「お散歩ごみ拾い」をInstagramで発信しました。へちまプロジェクトを展開し、へちまの苗や種を希望者78名に配り、各家庭で栽培・収穫・たわし作りまでしてもらい、天然素材のたわしを使うことで、マイクロプラスチックを排出しないなど、プラスチック問題への理解を深めてもらいました。

数多くの企画はいずれも参考にしたいものでした。わたしたち生活クラブ大阪の環境委員会にもぜひ石けん初心者の組合員に参加してもらい、環境にやさしい石けんを使おうと広めていきたいと思います。

後半の基調講演では、元高校の先生・佐藤五郎さんが、長年生徒と共に最上川の源流から河口までの水質調査をしてこられたこととお話しされました。改めて、水の汚れはわたしたちの生活に関連しているということがわかりました。

🅓びん回収率アップキャンペーン 9～11月(9/5～12/3)

牛乳びんを除くすべての🅓びんが対象。応募は3本一口とします。

抽選で「えのき茸茶漬け1本」をプレゼント！各生協の「Rびん」の回収本数に応じた当選数になります。詳細は後日配布のキャンペーンチラシをご覧ください。

Rびんは、回収して⇒洗って⇒再び使うびんなんです！家でリユースせず返してねっ。

「Rびん」は、ごみやCO2を削減するだけでなく、増え続けるプラスチック問題を解決するひとつの方法でもあります。何度もくり返し使うことで、環境にやさしい生活ができます。使い終わった「Rびん」は、必ず水かお湯でサッとすすいで返却しましょう。

- ・ラベルをはがしてください。 **はがしにくい時はそのまま返却もOKです！**
- ・**キャップは50℃位のお湯**にしばらく漬けると柔らかくなって、取りやすくなります。キャップがうまく取れなくても(途中でちぎれても) **そのまま返却してください。**
- ・キャップや金属のフタは回収していませんので、自治体の回収に出してください。

Rびん入り消費材を利用して、使用後は返して環境にやさしい生活を！

🅓の刻印
見つけてね



配達時に
しっかり返してね！

「Rびん返却実態調査アンケート」にご協力ありがとうございました。次回エコメールでご報告いたします。

環境委員会の活動に興味がある方は・・・組織運営課 ☎072-641-5547まで